

令和6年度 山口県訪問介護事業所連絡協議会  
第2回中央研修会アンケート集計

講師 : 山口大学 医学系研究科  
教授 山根 俊恵 氏  
開催日 : 令和6年8月20日(火)  
会場 ハイブリット開催・録画配信

参加者事業所数	17
回答数	11
回収率	64.7%

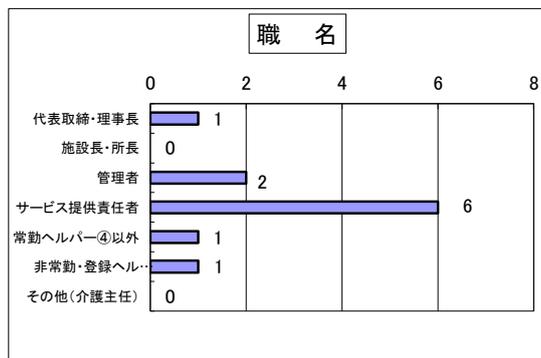
1 参加区分

1	訪介協会会員	8
2	全ヘル会員	2
3	非会員	1
	計	11



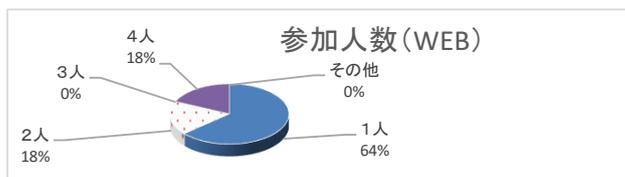
2 職名(複数回答有)

1	代表取締役・理事長	1
2	施設長・所長	0
3	管理者	2
4	サービス提供責任者	6
5	常勤ヘルパー④以外	1
6	非常勤・登録ヘルパー	1
7	その他(介護主任)	0
	計	11



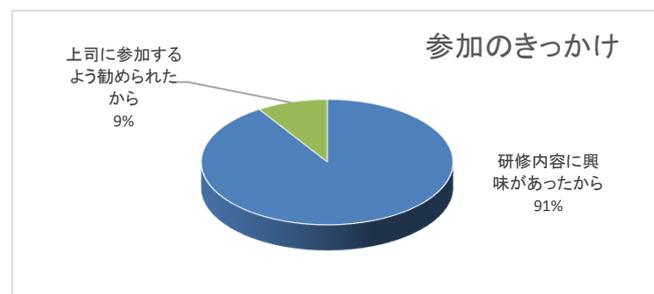
3 1事業所当たりの参加人数(WEB)

1	1人	7
2	2人	2
3	3人	0
4	4人	2
5	その他	0
	計	11



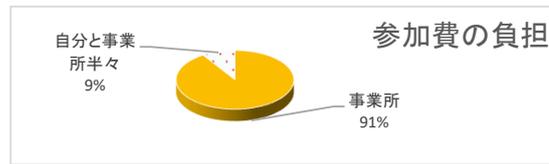
4 参加のきっかけ

1	研修内容に興味があったから	10
2	講師に興味があった	0
3	上司に参加するよう勧められたから	1
4	新型コロナの影響で研修を受講する機会が減ったから	0
5	その他	0
	計	11



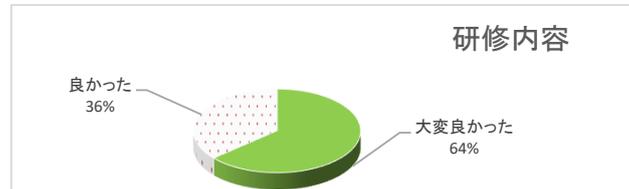
## 5 参加費負担

1	自分	0
2	事業所	10
3	自分と事業所半々	1
4	その他	0
	計	11



## 6 「精神疾患を有するご利用者・ご家族へのアプローチ～症状や特性、対応について学ぼう～」に関する講義について

1	大変良かった	7
2	良かった	4
3	あまり良くなかった	0
4	内容を改善してほしい	0
	計	11



NO	研修会の内容についての、意見、感想
1	これからの時代はより難しい、複雑な精神疾患の患者さんが増えて行くと言われています。精神疾患を患っておられる本人も大変だと思います。周りの家族や関係者がいかに症状や特性について学び、現場で実践することが必要になってきます。訪問介護をするうえで欠かせないスキルの一つと考えます。今日の講義では、時間をしっかりと確保しておられる中でのお話だったため、分かりやすい講義でしたが、グループワークが短く、また、Zoomでのグループワークは、いつも難しいと感じています。より深く話し合いを行うには、やはり研修会場に集まって直接やりとりするのがベストだなと思います。
2	対処と対応の違いについてや、疾患名ではなくご本人の生きづらさをアセスメントして対応していくことの大切さを改めて学びを深められた。
3	統合失調症について詳しく学ぶ事ができて良かったです。
4	ヘルパーとの対話により、信頼を得て自身のことを伝えられる。の先生の言葉にハッとさせられます。どうしても感情労働は主観も強くなりがちになるため意識をもって支援をしていきたいと思う。精神疾患の特性については誰しもが大なり小なり持ち合わせていると感じる中で、病名がつくほどに追い込まれてしまう方に寄り添いながら支援していきたいと思う。また、支援の業務をしつつ、限られた訪問時間の中での対話からのアセスメントは大変な技術必要なので、どうやって対応していくのが課題と感じます。
5	ご利用者に接する際の肯定も否定もせず傾聴しながら、どのように回答するのか等参考になりました。性格や個性と疾患の違いが難しいところですが、今後の支援に参考にさせていただきます。ありがとうございました。
6	担当ご利用者様のご家族が精神疾患の方がいるので、どういう声掛けをしたら良いのかと正解が見つからないまま支援を行っていたので、今回の研修はとても勉強になりました。
7	最近では、「認知がある」「精神」と言った決めつけて言っている福祉職員が多いと感じていた。私たちは専門職として、その”人”をみるべきであり、その人に合わせた支援が必要だということを今回の研修で学ばせていただいた。まだまだ知らないことも多いので、このように学ぶ機会をいただき感謝しています。
8	生きづらさを理解した援助ができていたのだろうか、改めて考えさせられました。
9	精神疾患の方の支援に入った事もなく、研修も受けたことがなかった為、学んで少しですが分かることが出来たので良かったと思いました。

NO	本会に対する意見、要望
1	いろんなパターンの事例を経験されており興味深く聞くことができた。また今後の支援に生かせる内容も多くあった。グループ討議では活発な意見交換ができるように役割分担を行えばよかったと思いました。
2	せっかくグループワークの時間を当ててくれたのに、内容が難しく事例に記載のない内容(事例1で薬物使用していたこと)があったり、何を話し合えばよいのか難しく、悩んでいる間に時間がきてしまったことが残念でした。
3	研修に参加させて頂き、ありがとうございました。